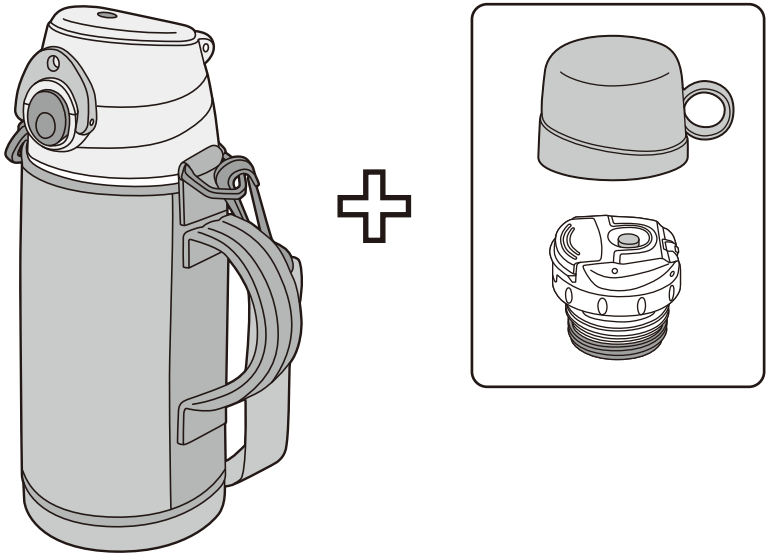
取扱説明書

品番：FFG-601WFS

重要 ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
部品購入時に必要になりますので捨てずに保管してください。

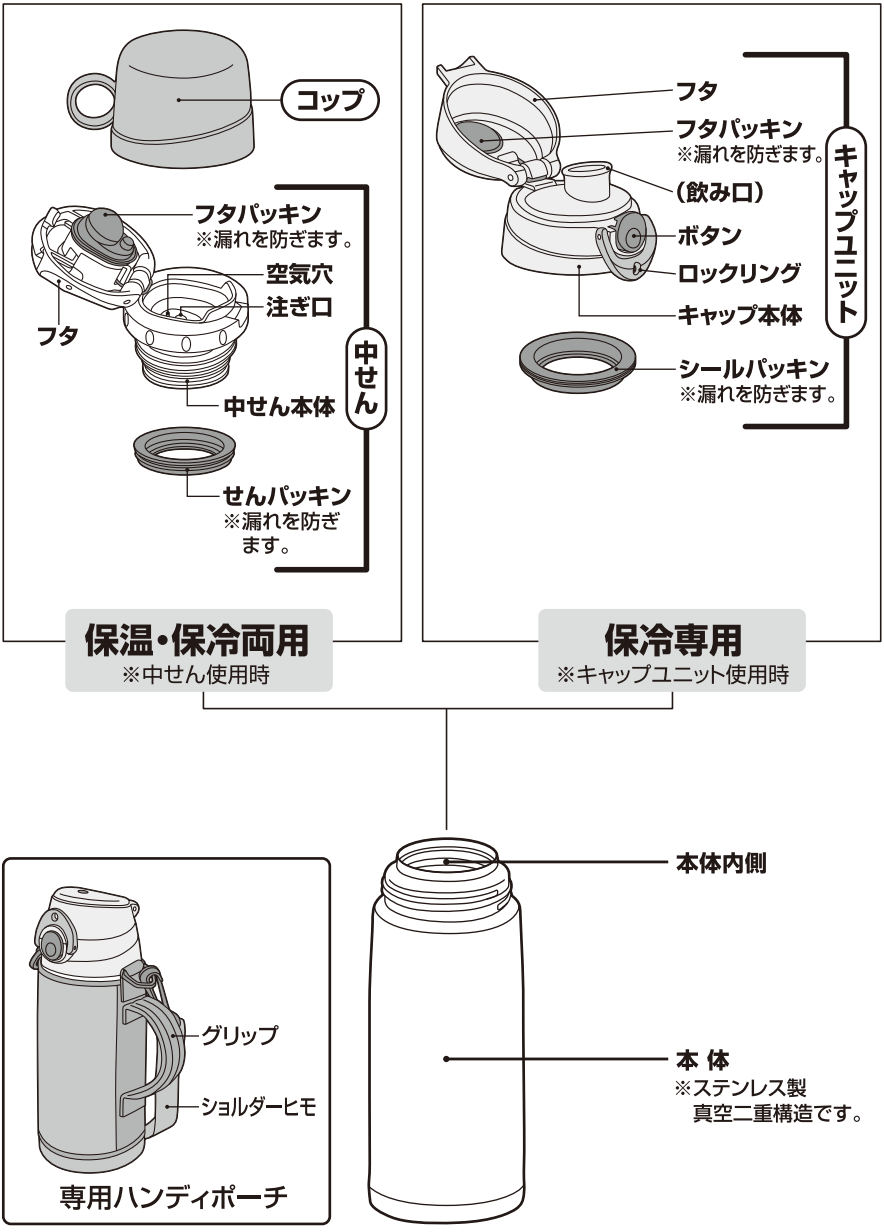


もくじ

ご使用前に	P.1	各部のなまえ
	P.2	安全上の注意
	P.5	使用上のお願い
ご使用方法	P.6	使い方
	P.8	お手入れ
困ったとき	P.12	こんなときは…
	P.13	仕様
	P.13	交換用部品（別売）のお求め方法
	P.13	お問い合わせ

各部のなまえ

ご使用前に、各部品がそろっていることを確認してください。



安全上の注意

ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。

表示マークの意味について

■製品を正しくお使いいただくために、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を以下の表示で区分しています。

⚠警告	死亡、または重傷を負う恐れがある内容を示しています。	⚠注意	軽傷、または物的損害を負う恐れがある内容を示しています。

■図記号について

禁止	してはいけない内容を表しています。	必ず行う	必ずお守りいただく内容を表しています。

⚠警告

中せん・キャップユニット使用時

禁止 保護者の目の届かないところで使用させないでください。また乳幼児のいたずらには十分に注意してください。

＊取りはずした部品を誤飲して窒息する原因になります。また、やけどやけがの原因になります。

禁止 乳幼児・小学生のお子様は、ハンディポーチのショルダーヒモを首からかけずに肩からななめ掛けしてください。

＊ショルダーヒモが他のものに引っかかり、窒息やけがの原因になります。

禁止 ハンディポーチのショルダーヒモをかけた状態で運動したり、遊んだりしないでください。

＊ショルダーヒモが他のものに引っかかり、窒息やけがの原因になります。

キャップユニット使用時

禁止 熱い飲みものは入れないでください。

＊熱い飲みものが直接口内に入るため、やけどの原因になります。

＊内圧が上がり、キャップユニットが開かなくなる・飛び出す、飲みものがふき出るなどして、やけどやけがの原因になります。

⚠注意

中せん・キャップユニット使用時

禁止 飲みものを入れる目的以外に使用しないでください。

＊けがなどの原因になります。

禁止 ストーブやコンロなどの火気に近づけないでください。

＊やけどや変形・変色の原因になります。

必ず行う **中せん・キャップユニットは確実に閉めてください。【☞P.6❸、P.7❸】**
＊漏れてやけどやものを汚す原因になります。

必ず行う **中せん・キャップユニットはそれぞれ2つの専用パッキンを正しく取り付けてください。【☞P.9❸❹、P.10❸❹】**
＊漏れてやけどやものを汚す原因になります。

次のものは絶対に入れないでください。

禁止 **ドライアイス・炭酸飲料**
＊内圧が上がり、中せん・キャップユニットが開かなくなる・飛び出す、飲みものがふき出るなどして、けがやものを汚す原因になります。

禁止 **牛乳・乳飲料・果汁など腐敗しやすいもの**
＊飲みものの腐敗や変質の原因になります。そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが発生して内圧が上がり、中せん・キャップユニットが開かなくなる・飛び出す、飲みものがふき出るなどして、けがやものを汚す原因になります。

禁止 **お茶の葉・果肉**
＊すきまなどにつまり、漏れてやけどやものを汚す原因になります。

お手入れの際、次の点を必ず守ってください。

禁止 **煮沸はしないでください。**
＊熱により部品が変形し、漏れてやけどやものを汚す原因になります。

禁止 **食器洗浄機・食器乾燥機は使用しないでください。**
＊熱により部品が変形し、漏れてやけどやものを汚す原因になります。

禁止 **改造・分解・修理は絶対にしないでください。**
＊故障・事故の原因になります。

禁止 **落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えないでください。**
＊けがや漏れてやけどやものを汚す原因になります。また保温・保冷不良や中せん・キャップユニットの故障の原因になります。

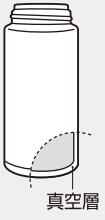
必ず行う **飲みものは早めにお飲みください。**
＊飲みものの腐敗の原因になります。

禁止 **飲みものを入れた状態で長く放置しないでください。**
＊飲みものの腐敗や変質の原因になります。また腐敗などによりガスが発生して内圧が上がり、中せん・キャップユニットが開かなくなる・飛び出す、飲みものがふき出るなどして、けがやものを汚す原因になります。

必ず行う **本体に飲みものを入れる際は転倒に注意してください。**
＊飲みものがこぼれ、やけどやものを汚す原因になります。

禁止 **ハンディポーチのグリップやショルダーヒモを持って振りまわしたり、強く引っぱったりしないでください。**
＊振りまわすなどして周囲の人と接触した場合、けがの原因になります。また強く引っぱると、グリップやショルダーヒモが破損する原因になります。

禁止 **真空二重構造の内部（真空層）から水の音がする場合は使用しないでください。**
＊真空層の水が本体内側にしみ出した場合、飲んで体調不良の原因になります。



禁止 **電子レンジに入れないでください。**
*金属部がスパークして電子レンジが故障する原因になります。
*熱により部品が変形し、漏れてやけどやものを汚す原因になります。

必ず行う **製品には必ず専用の部品を取り付けてください。**
*漏れてやけどやものを汚す原因になります。

中せん使用時

熱い飲みものを入れた場合、次の点を必ず守ってください。

禁止 **直接飲まないでください。**
*やけどの原因になります。

禁止 **傾けた状態、または顔などを近づけた状態で中せんのフタを開けないでください。**
*内圧が上がり、飲みものが急激に出たり飛散したりして、やけどなどの原因になります。

禁止 **コップに注ぐときは本体を急に傾けないでください。**
*急に傾けると、飲みものが勢いよく出てやけどなどの原因になります。

禁止 **中せんを閉めるときは本体を傾けたり、揺らしたりしないでください。**【☞P.6❸】
*飲みものがあふれ出る原因になります。また漏れて、やけどやものを汚す原因になります。

必ず行う **飲みものの量は図の位置までにしてください。**
*入れすぎると、中せんを閉めたときに飲みものがあふれ出る原因になります。また使用中に漏れて、やけどやものを汚す原因になります。

（断面図）

必ず行う **大きな氷は押し込まずに小さくしてから入れてください。**
*本体内側の止水部が変形して、漏れてやけどやものを汚す原因になります。

禁止 **中せんのフタを開けた状態で中せんの取り付け、取りはずしはしないでください。**
*変形・破損して、漏れてやけどやものを汚す原因になります。

禁止 **コップの持ち手を持って運ばないでください。**
*本体が抜け落ちて、けがの原因になります。

キャップユニット 使用時

必ず行う **飲みものの量は図の位置までにしてください。**

（断面図）

*入れすぎると、キャップユニットを閉めたときに飲みものがあふれ出る原因になります。また使用中に漏れて、ものを汚す原因になります。

禁止 **キャップユニットのフタを開けた状態でキャップユニットの取り付け、取りはずしはしないでください。**
*変形・破損して、漏れてものを汚す原因になります。

必ず行う 大きな氷は押し込まずに小さくしてから入れてください。
＊本体口元の止水部が変形して、漏れてものを汚す原因になります。

禁止 ロックリングを持って運んだり、振りまわしたりしないでください。
＊指をはさんだり、落としたりして、けがの原因になります。またロックリングの破損の原因になります。

使用上のお願い

中せん・キャップユニット 使用時

みそ汁・スープなど塩分を多く含んだものは入れないでください。
＊本体内側は18-8ステンレスを使用していますが、塩分によりさびる原因になります。

バッグなどに入れる場合は万一の漏れを防ぐために製品を縦置きにしてください。また貴重品（携帯電話・カメラ等）を一緒に入れないでください。

保温・保冷性能が低下したときは使用しないでください。

お出かけ前に、製品を逆さにして漏れのないことを確認してください。
＊漏れた場合はP.12「こんなときは…」の項目をお確かめください。

保護シートは、はがさないでください。
＊保温・保冷不良の原因になります。

保護シート

中せん使用時

コップは内側に残った水滴を振りきった後、よく拭いてから本体に取り付けてください。

キャップユニット 使用時

製品の構造上、湿度が高いとき、キャップユニットに水滴が付く（結露する）ことがありますのでご注意ください。

持ち運ぶ際はロックリングを確実にロックしてください。

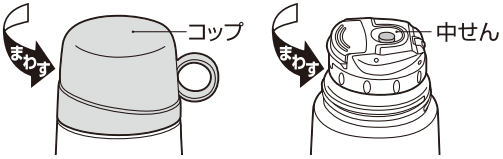
使い方

中せん使用

《ご使用前に》
コップ・中せん・本体内側を十分に洗ってください。【☞P.8】

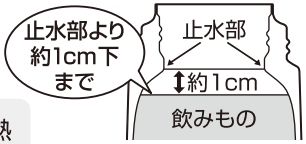
❶ コップ・中せんをはずす

コップ・中せんを矢印の
方向にまわしてはずします。



❷ 飲みものを入れる

飲みものの量は図の位置までにしてください。
入れすぎると、中せんを閉めたときに飲みものが
あふれ出る原因になります。

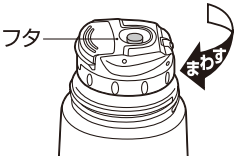


（断面図）

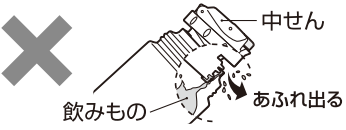
ポイント
本体に少量の熱湯（冷水）を入れ、1分程度予熱
（予冷）すると保温（保冷）に効果的です。

❸ 中せんを閉める

フタを閉めた状態で、中せんを矢印の
方向にまわして確実に閉めます。

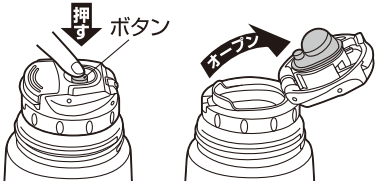


中せんを閉めるときは、本体を傾けたり、揺らしたりしないでください。
※飲みものがあふれ出たり、漏れたりして、
やけどやものを汚す原因になります。

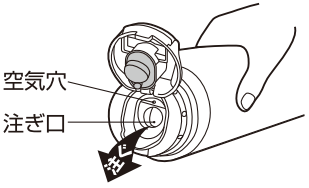


❹ 飲みものを注ぐ

①本体を立てた状態で、中せんの
ボタンを押してフタを開けます。



②本体を持って注ぎ口方向へ
ゆっくりと傾け、コップに注ぎます。



❺ 注ぎ終わったら

①本体を立てた状態
にしてフタを閉じ、
先端を矢印の
方向に押して
確実に閉めます。

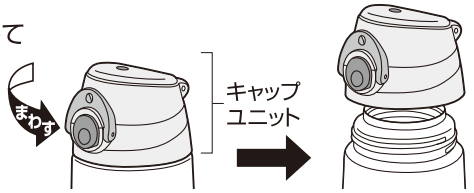
②コップを矢印の
方向にまわして
閉めます。

キャップユニット使用

《ご使用前に》
キャップユニット・本体内側を十分に洗ってください。
【☞P.8】

❶ キャップユニットをはずす

キャップユニットを矢印の方向にまわしてはずします。



❷ 飲みものを入れる

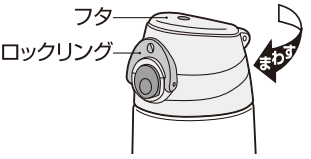
飲みものの量は図の位置までにしてください。入れすぎると、キャップユニットを閉めたときに飲みものがあふれ出る原因になります。

ポイント 本体に少量の冷水を入れ、1分程度予冷すると保冷に効果的です。

（断面図）

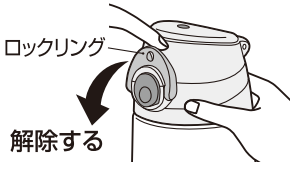
❸ キャップユニットを閉める

フタを閉めた状態で、キャップユニットを矢印の方向にまわして確実に閉めます。
※ロックリングがロックされていることを確認してください。【☞P.7❺】

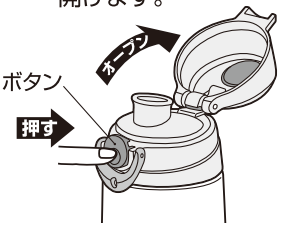


❹ 飲みものを飲む

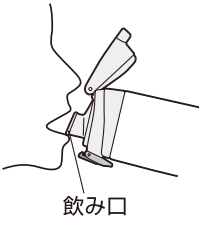
①本体を立てた状態で、ロックリングを矢印の方向に動かして解除します。



②**ボタン下部**を押して、フタを開けます。



③飲み口に口をつけて、ゆっくり傾けながら飲みます。



❺ 飲み終わったら

①本体を立てた状態にして、フタを“カチッ”と音がするまで押して、確実に閉めます。
②ロックリングを矢印の方向に動かし、確実にロックします。

⚠注意
バッグなどに入れる場合は万一の漏れを防ぐために製品を縦置きにしてください。

お手入れ

臭いや汚れ・カビを防ぎ、いつまでも清潔にご使用いただ

●ご使用後は、すぐにきれいに洗い、十分乾燥させてください。
●パッキンを取りはずし、きれいに洗ってください。
●長期間ご使用にならないときは、きれいに洗って汚れを落とし、十分乾燥させ、高温多湿の場所をさけて保管してください。

部品名 / 洗い方		コップ	中せん・キャップユニット		本体	
			フタ 中せん本体 キャップ本体	フタパッキン せんパッキン シールパッキン	内側	外側
流水洗い		○	○	○	○	○
つけ洗い		○	○	○	○	×
漂白剤	酸素系	○	○	○	○	×
	塩素系	○	×	○	×	×
食器洗浄機 食器乾燥機		×	×	×	×	×

ハンディポーチ	×洗濯機 ○手洗い（手洗イ 30）	水または30度以下のぬるま湯で軽く手洗いして、十分乾燥させてください。

お手入れ上の注意

お手入れ前によくお読みの上、必ずお守りください。

禁止 **煮沸はしないでください。**
*熱により部品が変形し、漏れてやけどやものを汚す原因になります。

禁止 **本体は水中に放置しないでください。**
*本体と保護シートとのすきまに水が浸入し、さびや保温・保冷不良などの原因になります。

禁止 **中せん・キャップユニット・本体は塩素系漂白剤を使用しないでください。**
*さびや保温・保冷不良の原因になります。また中せん・キャップユニットの故障の原因になります。

禁止 **食器洗浄機・食器乾燥機は使用しないでください。**
*熱により部品が変形し、漏れてやけどやものを汚す原因になります。また塗装・印刷・シールなどのはがれの原因になります。

禁止 **シンナー・ベンジン・金属タワシ・みがき粉・クレンザーは使用しないでください。**
*さびや傷などの原因になります。

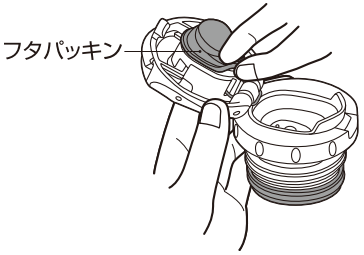
禁止 **本体外側は漂白剤を使用しないでください。**
*塗装・印刷・シールなどのはがれの原因になります。

中せん パッキンのはずし方・取り付け方

■中せんのはずし方【☞P.6】

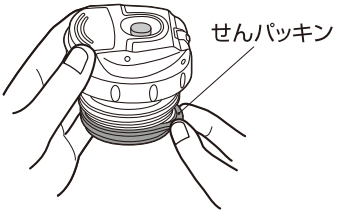
❶ フタパッキンのはずし方

フタパッキンのフチをめくり、
取りはずします。



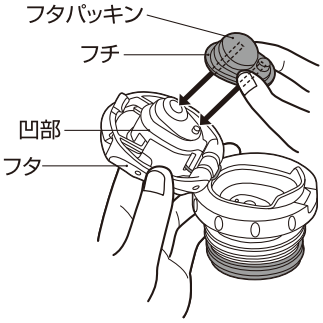
❷ せんパッキンのはずし方

せんパッキンのフチをつまみ、
取りはずします。



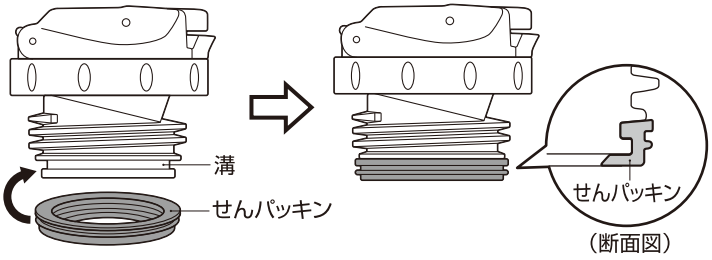
❸ フタパッキンの取り付け方

フタパッキンの穴をフタの突起部に
合わせた後、全体にかぶせ、
フタパッキンのフチがフタの凹部に
はまるまで、すきまができないように
全周にわたって押し込みます。



❹ せんパッキンの取り付け方

せんパッキンの上下方向を確認して、中せんの溝に取り付けます。
取り付けた後はせんパッキンが浮かないように指でまんべんなく押します。

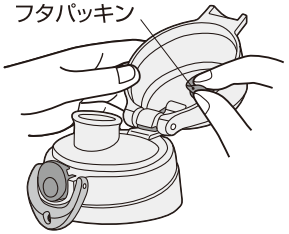


キャップユニット パッキンのはずし方・取り付け方

■キャップユニットのはずし方【☞P.7】

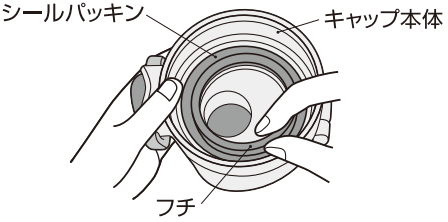
❶フタパッキンのはずし方

フタとフタパッキンの間に
指を入れ、フタパッキンの
フチをめくり、取りはずし
ます。



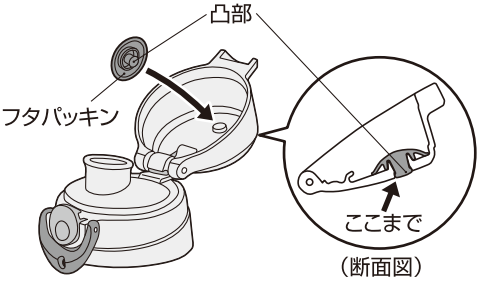
❷シールパッキンのはずし方

シールパッキンのフチをつまみ、
取りはずします。



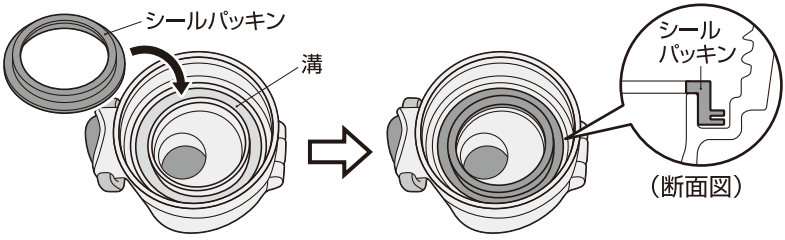
❸フタパッキンの取り付け方

フタパッキンの凸部をフタの
丸い穴に確実に押し込みます。



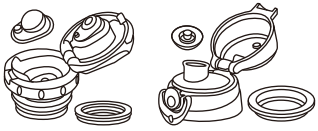
❹シールパッキンの取り付け方

シールパッキンの平らな面をキャップ本体の溝にはめ込みます。
取り付けた後はシールパッキンが浮かないように指でまんべんなく押します。



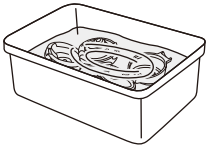
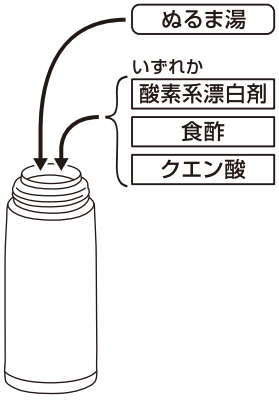
【普段のお手入れ】

●ぬるま湯でうすめた食器用中性洗剤を使用し、すすいだ後は、よく水を切り、十分乾燥させてください。

中せん　キャップユニット 	やわらかいスポンジを使用してください。 ※お手入れの後はそれぞれ2つのパッキンを正しい位置に確実に取り付けてください。 【☞P.9❸❹、P.10❸❹】
本体 	やわらかいスポンジやボトルブラシを使用してください。 外側はすぐに乾いた布で拭いてください。 ※水滴の跡やさびの原因になります。

【念入りのお手入れ】

●台所用漂白剤の取扱説明書の指示に従い使用し、すすいだ後は、よく水を切り、十分乾燥させてください。

中せん・キャップユニット 	**〈茶しぶなど〉** ボウルなどの容器に漂白剤と水を入れ、各部品を浸けてください。(目安30分)
本体内側 	**〈茶しぶなど〉** 内側のみ酸素系漂白剤またはポット用洗浄剤を使用してください。(目安30分) ≪⃠禁止 塩素系漂白剤≫ 中せん・キャップユニットは取り付けないでください。 ※本体の内圧が上がり、中せん・キャップユニットが飛び出すなど危険です。 **〈斑点状の赤いさび〉** 水に含まれる鉄分などが付着したものです。 食酢を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れ、約30分後によく洗ってください。 **〈ザラザラしたもの〉** 水に含まれるカルシウムなどが付着したものです。 クエン酸を1～2%程度入れたぬるま湯を本体に入れ、中せん・キャップユニットを取り付けずに約3時間後によく洗ってください。

こんなときは…

分からないことがありましたら、以下の項目をお確かめください。

不具合	原因	対処方法
中せん・キャップユニットから漏れた	中せん・フタが確実に閉まっていない	中せん・フタは確実に閉めてください。 【☞P.6❸❺】
	キャップユニット・フタが確実に閉まっていない	キャップユニット・フタは確実に閉めてください。 【☞P.7❸❺】
	飲みものを入れすぎている	飲みものは規定の量までにしてください。 【☞P.6❷、P.7❷】
	パッキンがはずれている	パッキンはそれぞれ正しい位置に確実に取り付けてください。【☞P.9❸❹、P.10❸❹】
	中せん・キャップユニットやパッキンが破損・消耗している	別売の交換用部品を用意しております。 お買い上げの販売店または、お問い合せ先までご相談ください。【☞P.13】
飲みものが出にくい（中せん使用時）	注ぎ口・空気穴が氷や飲みものでふさがれている	中せんをはずして、軽く振ったり、たたいたりして取り除いてください。
本体内側が変色した	汚れが付着している	酸素系漂白剤またはポット用洗浄剤を使用してください。【☞P.11】
	斑点状の赤いさびが付着している	水に含まれる鉄分などが付着したものです。 食酢を使用してください。【☞P.11】
	ザラザラしたものが付着している	水に含まれるカルシウムなどが付着したものです。クエン酸を使用してください。【☞P.11】
保温（保冷）が効かない	十分に熱い（冷たい）飲みものを入れていない	熱い（冷たい）飲みものを入れてください。 また、あらかじめ本体内側を予熱（予冷）しておくと効果的です。
	飲みものの量が少ない	飲みものの量を増やしてください。
異臭がする	本体内側や中せん・キャップユニットに汚れが付着している	きれいに洗い、十分乾燥させてください。異臭が取れない場合は酸素系漂白剤またはポット用洗浄剤を使用してください。【☞P.11】
パッキンが変色した	汚れ・カビが付着している	漂白剤を使用してください。汚れ・カビが落ちない場合は廃棄し、別売の交換用部品をお買い求めください。【☞P.11、P.13】
緑茶などが赤茶色に変色した		お早めにお飲みください。お茶を保温すると、お茶の成分が変化して色や風味が変わることがありますが、人体に害はありません。
製品を振るとシャラシャラという音がする		保温（保冷）効果を高めるために本体内部に入れている金属箔がこすれて音がすることがあります。異常ではありません。

◆上記のいずれの項目にもあてはまらない場合は、お買い上げの販売店またはお問い合せ先にご相談ください。【☞P.13】

仕様

部品名		材料の種類
本体	内側	ステンレス鋼
	外側	ステンレス鋼（アクリル樹脂塗装）
コップ		ポリプロピレン
中せん	中せん本体・フタ	ポリプロピレン
	ボタン	ポリアセタール
	フタパッキン・せんパッキン	シリコーン
キャップユニット	キャップ本体・フタ・ボタン	ポリプロピレン
	ロックリング	ポリアセタール
	フタパッキン・シールパッキン	シリコーン

保温効力（中せん使用時）：73度以上（6時間）45度以上（24時間）
保冷効力（キャップユニット使用時）：10度以下（6時間）

交換用部品（別売）のお求め方法

品番	交換用部品名	メーカー希望小売価格
FFG-601WFS	FFGコップ	400円+税
	FFG中せん※1	700円+税
	FFG中せんパッキンセット※2	200円+税
	FFGキャップユニット※3	700円+税
	FFGキャップユニットパッキンセットL※4	200円+税
	FFGハンディポーチ※5	1,500円+税

※1 FFG中せん（中せんパッキンセット付き）
※2 FFG中せんパッキンセット（フタパッキン・せんパッキン各1個）
※3 FFGキャップユニット（キャップユニットパッキンセットL付き）
※4 FFGキャップユニットパッキンセットL（フタパッキン・シールパッキン各1個）
※5 FFGハンディポーチ（ショルダーヒモ付き）

上記交換用部品につきましては、お近くのサンリオ商品取扱店におきましても取り寄せができますので、お問い合わせください。なお、お電話にてご注文を承ります時は、別途送料はお客様の負担となりますことをあらかじめご了承ください。

品質管理には細心の注意を払っておりますが、万一製品に
不具合がございましたら、お買いあげいただきました販売店
または、下記お問い合わせ先までお問い合わせください。

発売元　株式会社サンリオ
製造元　サーモス株式会社
商品に関するお問い合わせ先
〒141-8603 東京都品川区大崎1-11-1
03-3779-8148
受付時間：10時～17時(土日 祝日を除く)
http://www.sanrio.co.jp/

0714-1